

# 史 備陽史探訪の会

## 11月・12月・1月の行事日程一覧

11月5日(土)【ぶら探訪44】(要申込)  
「駅家町大橋を歩く」

11月13日(日)【バス例会】(要申込)  
「元禄浪漫 播州赤穂城跡と周辺歴史地区を巡る」

11月20日(日)【測量調査】(要申込)  
「山手銀山城測量調査14」

11月25日(金)【分布調査】(要申込)  
「中世石造物調査37(本郷町)」

12月3日(土)【ぶら探訪45】(要申込)  
「向東を歩こう～7つの島から成る歌島～」

12月11日(日)【歴史講演会】  
「三次盆地の古墳時代～特に三次地域の古墳の特色について～」

12月11日(日)【年末恒例】(要申込)  
「望年会 in 月見櫓」

12月24日(土)【分布調査】(要申込)  
「中世石造物調査38(新市町)」

1月28日(土)【年始恒例】(予定)  
「講演会&総会&新年会」

11月12日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」  
11月19日(土)【中世史部会】「中世を読む」  
11月25日(金)【古文書講座】「古文書入門」  
11月26日(土)【古代史部会】「古墳講座」  
12月10日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」  
12月24日(土)【古文書講座】「古文書入門」

- ※ 12月の「古文書入門」第4金曜日の午前中です。
- ※ 12月の「中世を読む」「古墳講座」はお休みです。
- ※ 12月の「銀山城調査」は日程未定ですが開催します。

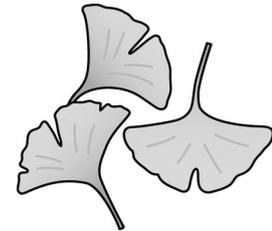
## 事務局便り

11月・12月のぶら探訪は、ちょっといつもと違うぶら探訪です。そうです。駅とかじゃありません。徒歩での参加はちょっと厳しいかもしれませんが、ひとつの試みとしてご了承ください。あと、集合場所が難解!?かも?。というわけで行き方を少々念入りに行ってみました。◇今回から「びんご歴史クイズ」の解答を切り取って応募できるようになりました。ハガキで応募される方は、ぜひご利用ください。

2016(平成28)  
行事案内  
11月号

備陽史探訪の会の目的  
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。

(会則第1章第2条より)



## 行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム  
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール  
「[info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)」
- ◎田口会長宅へ電話  
「084-953-6157」

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824

広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail [info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)

公式サイト

<http://bingo-history.net>

11月5日(土)

ぶら探訪 44

要  
申込

## 駅家町大橋を歩く

【集 合】 午前9時  
大橋会館  
( 駅家町大橋 328-1)

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

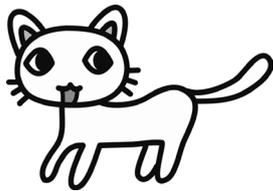
【講 師】 山岡 佑佳(中世史部会幹事)

### 【主な見学】

良神社、四ツ堂3箇所、水野家家臣石黒氏の墓所(大橋に土着して現代まで続く)、馬屋原重帯の寿蔵碑および墓など

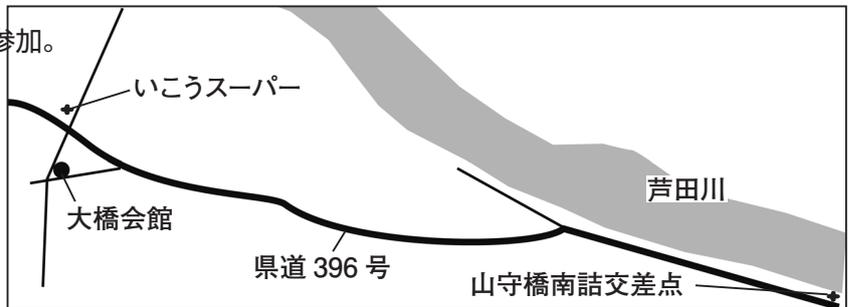
### 【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。  
※解散は12時頃、大橋会館にて



今回は利用可能なバスの便はありません。最寄駅は福塩線近田駅ですが、徒歩で30分ほどかかります。ご了承ください。なお、車は大橋会館の駐車場が利用可能です。

{福山方面からの車での行き方}  
石原トンネルを抜け左折→土手道を走り「山守橋南詰交差点」を過ぎる→土手道から道なりに左へ(県道396号)→約1.4kmほど進むと右手方向に「いこうスーパー」あり→そこの四辻を左折(少し狭い道です)→ちょっと進むとすぐ右手に広い駐車場が見えてくる。ここに駐車してください。(左手が大橋会館です)



11月20日(日)

測量調査

## 山手銀山城測量調査 14

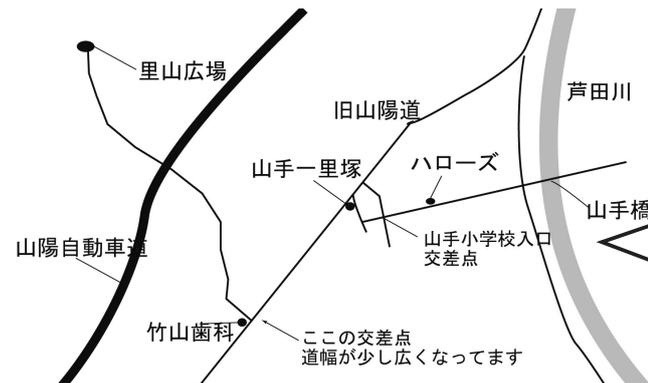
山手銀山城の測量調査が再開します。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です!

【集 合】 午前9時  
里山広場(弘法の水の南側)

要  
申込

### 【その他】

※午後4時頃解散予定。  
※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。  
※雨天の場合は中止します。



11月25日(金)

分布調査

## 中世石造物調査 37

第三十七回目は、本郷町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後1時30分  
松永支所 駐車場  
(西部市民センター)  
(松永町三丁目1番29号)

要  
申込

### 【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。  
※12月24日(土)は新市町で実施する予定です。

平板測量を用いた縄張図の作成を行います。経験のない方、見学だけの方もOK! 山城に興味のある方ならどなたでも参加できます。

中世石造物調査、山手銀山城測量調査も、どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

11 月 13 日(日)

バス例会

要  
申込

# 元禄浪漫 播州赤穂城跡と 周辺歴史地区を巡る

播州赤穂は“忠臣蔵のふるさと”の地として物語に登場してくる重要な舞台の一つ。また瀬戸内海に面し、赤穂浅野家が心血注いで造営して来た塩の国でもあり、北前船の寄港地として塩などで富を貯えた歴史地区もあります。赤穂の歴史に触れながら元禄の時代にタイムスリップして下さい。

【集 合】 午前7時50分(8:00 出発)  
JR福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 4,500 円(会員)  
5,000 円(一般)

【募集数】 47 名

【講 師】 河本 正二(近世近代史部会幹事)

【その他】

※帰着は福山駅北口午後5時30分予定

※飲み物・弁当持参

※歩きやすい服装・靴で参加。

【主な見学地】

①赤穂城跡  
赤穂浅野家初代浅野長直により慶安元年(1648)から13年の歳月をかけて築かれた、変形輪郭式海岸平城。甲州流軍学による縄張りとなされ、昭和46年国史跡に指定されている。

②花岳寺  
藩祖浅野長直が正保2年建立した曹洞宗永平寺派の寺院。浅野、永井、森家代々の赤穂藩主の菩提寺。浅野内匠守や大石内蔵助他四十七士の墓も並ぶ。山門はもと赤穂城塩屋総門で市指定文化財。

③大石神社  
赤穂城三の丸の大石内蔵助屋敷跡に大石内蔵助他四十七士を祭神として大正元年建てられた。大願成就を願う人々により崇敬を集めている。宝物殿には多くの書状、吉良上野介邸絵図面、国指定史跡の大石良雄宅長屋門や庭園などが保存公開されている。

④坂越歴史地区  
古代の秦野河勝や児島高德等の伝説を伝える古い港町。中世以降廻船業が栄え北前船の寄港地になる。伝統的歴史的建物群は景観形成地区に指定されかつての港町を偲ばせる風情が今なお残っている。



## びんご歴史クイズ 20

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

- ① 福山市内で最初に発見され学会に報告された貝塚は？  
イ) 洗谷貝塚      □) 木之庄貝塚  
ハ) 馬取貝塚      ニ) 大門貝塚
- ② 南朝の忠臣として有名な備後の武将は？  
イ) 有地元盛      □) 杉原盛重  
ハ) 桜山慈俊      ニ) 三吉覚弁
- ③ 次の郡の内、備後10万石に含まれたことがない郡は？  
イ) 品治郡      □) 御調郡  
ハ) 安那郡      ニ) 神石郡
- ④ 次の学校の内、廃校となってしまった私学は？  
イ) 庄原英学校      □) 福山電波高校  
ハ) 門田高等学校      ニ) 増川高等学校
- ⑤ 赤穂浪士の内、備後に仮住まいしていたのは？  
イ) 三村次郎左衛門      □) 菅谷半之丞  
ハ) 大高原吾      ニ) 間十次郎

(アンケート)

備後圏内で興味のある場所は？モノは？

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！（但し、換金、転売はご容赦を！）

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

○応募申込は  
事務局宛てにハガキで応募、  
(左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。アンケートもよろしく願います)  
もしくはインターネットの公式サイト  
の応募フォームから  
※電話での受付はありません。

○応募締め切りは  
11月20日(日)まで  
※正解と当選者の発表は会報193号  
で。

# 備後歴史研究会新聞

第10号

## 野毛幸司さんの福山城コメントが

福山・備後の地元誌「ウイंक」に掲載されました！

会員の野毛幸司さんが「ウイंक」10月号に登場！うん？誰？それ？と思った方も多いのではないのでしょうか。会の行事参加は「たまく」の会員さんなので知らない人の方が多いとは思いますが、実は知る人ぞ知る「福山城研究者」であり、そのキャリアは20年ほど。さぞやの御大？な感じですが、探訪の会の若手メンバーのひとりであります。さ

しずめ伏竜鳳雛……！かもしれません（笑）。  
現在Rim福山で展示されている福山城模型を制作された和久井さんと共に登場です。野毛さんは、「なるほど！福山城の『実は……』なハナ

シ」にコメントされています。そのうち研究成果が発表できるとよいですね。今後ともおおいに期待しております。

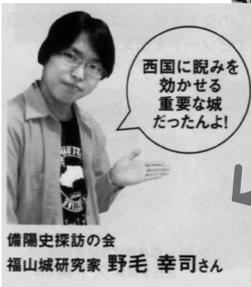
リムで11月30日まで展示される福山城模型。1/60のサイズです。改めて福山城郭の立派さを実感できます。城内にはミニ侍が15体いるそうです。探してみてネ。

田口会長と福山城模型を製作された和久井裕道さん。築城四百年を目前に話がはずんでおります。

10月号ウイंकはパン屋さん特集でリムの本屋さん売られてました。



ウイंकのほぼ真中あたりまで福山城模型を展示中の和久井さんと福山城研究家の会員の野毛さんの取材記事です。



備陽史探訪の会 福山城研究者 野毛 幸司さん



福山城模型の対面に展示された中世史部会製作の銀山城紹介パネルです。展示面がガラス張りで、スペースが広いということもあり、ちょっと見えづらい感じではありますが、一枚一枚のパネルはなかなかのものです。長いスパンで使用していく予定です。ちなみに左側の福山城築城以前の芦田川の様子は瀬良泰三さんの作です。Rimに寄られたら2FへGです。



# 堤勝義さんの明王院五重塔弥勒信仰説が 証明(?)されたといふことですね。

国宝 明王院五重塔、この本尊は、市重要文化財に指定された「大日如来坐像」でした。これが、実は弥勒菩薩だった!というニュースが流れたのは今年の十月でした。「ええっ?」と驚かれた方も「ほお、やっぱりな…」と頷かれた方も、記憶に新しい事だと思えます。

以下、記事を抜粋します。

〔山陽新聞 デジタル版〕

仏像は高さ52.5センチ。五重塔が建立された南北朝時代の1348年と同時期に作られたとされる。1993年に不動明王、愛染明王の2体の脇侍とともに「木造大日如来坐像及び両脇侍(不動明王・愛染明王)坐像」の名称で市重要文化財に指定された。

しかし、2005年に広島大の研究者が、独自調査で仏像が大日如来ではなく弥勒菩薩である可能性を指摘。これを受け、明王院や地元の市民グループから市教委に調査を求め

る声が上がっていた。

今年8月、市文化財保護審議会が再調査を実施した結果、仏像の手のひらに直径約1.5センチの穴があるのを発見。そこに弥勒菩薩が持つ宝塔が置かれていた可能性が高いことが分かった。また、五重塔の屋根の伏鉢と呼ばれる部分に「弥勒菩薩と縁を結ぶために建立された」という趣旨の文言が刻まれていることや、像を囲む四本の柱に描かれた36の仏の中に大日如来が描かれており、仏像が弥勒菩薩であれば「金剛界三十七尊」がそろつことなどが根拠となり、弥勒菩薩であると結論づけた。

「約10年間にわたって関係者の関心を集めた謎にピリオドが打れた」そう、めでたい事ですね、スッキリですね。

しかし、しかしですね!我が探訪の会では、三十年も前に元会員の堤勝義さんが、五重塔の弥勒信仰に言及されていたのですよ!

堤さんは、以前、会報にもよく投稿されていました。そして1985年刊行の『山城志第8集』に投稿されたのが「明王院五重塔の相輪伏鉢陰刻名について」。

ストーリーについて調べていて、五重塔の伏鉢の銘に気付かれたとのこと。もちろん新聞のように「弥勒菩薩と縁を結ぶために建立された」なんて銘が入っているわけはございません。

実際の銘は次の通り。  
右夫普為令  
遂兜卒上詣願望  
結龍花下生來縁  
積一文勸進小資  
成五重塔姿大功  
順送諸縁同利益

この文面より「以上のように、貞和四年に建立された明王院五重塔は、当時の浄土信仰に結びついて信仰された弥勒信仰にもとづいて、建てられたことが、

陰刻銘によりわかるのである」とされております。

これまで、一文勸進で建立された話は広く流布していましたが、問題は「兜卒」の方だったようですね。

市教委の「大日如来」の判断理由は両手の指を組み合わせた「印相」だったということですが、五重塔内部にあったのは「兜卒+天曼荼羅図」だったとか?

まあ、当時の市教委の判断についてはおいておいてですね、三十年も前から、五重塔の弥勒信仰を説いておられた堤さん、すごいですね。『山城志第8集』は他にも濃い目の記事満載です。読みたくなつた方は、図書館へGOです!

## 山城志 第8集

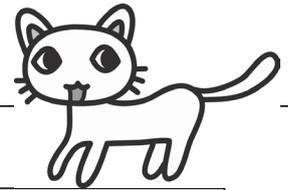
備陽史探訪の会古墳城郭研究部会紀要  
1985・8

目次	
正福寺裏山古墳群について	山口哲晶 1
——墳形と位置関係	
備南中世山城跡の現状 I	福山ユースドマップクラブ 5
《シリーズ・備南の古墳》	
——追山第1号古墳	佐藤一夫 12
明王院五重塔の相輪伏鉢陰刻名について	堤勝義 14
異聞明智山城私考	後藤匡史 15
神辺城主山名理興の出自	田口義之 18
備後神辺城主杉原盛重	森本繁 21
《シリーズ・生活の歴史を探る》	
——(1)晝表の今昔	瀬戸洋子 29
《シリーズ・備後の山城》	
——(1)九鬼城跡	城郭研究部会 30
御調の地名と山城	住貞義量 32
——短歌	須磨 34
囚人遠藤弁蔵	平井隆夫 35
三原史跡めぐり	
“失われた道跡への哀愁・古を偲ぶ”	
その1 山陽街道に沿って(3)	末森清司 40
図説 世羅郡甲山町・鳳林寺中世墓石群	巻頭

12月3日(土)

ぶら探訪 45

要  
申込



# 向東を歩こう ~7つの島から成る、歌島~

【集 合】 午前9時  
ユーホー向島店駐車場  
(尾道市向東町字蔵本谷沖 1008-1)

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

【講 師】 峯松 俊彦・岡田 宏一郎

## 【主な見学地】

水場…尾道港に出入りする船へ給水船を使って給水してきた

石切場…箱石と言う地名で今も残る

墓苑頂上にて…巨石が神聖化され、岩に名前が付けられている。

西堤寺と木造観音菩薩立像及び田植え観音、森金八幡宮など

## 【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は正午頃

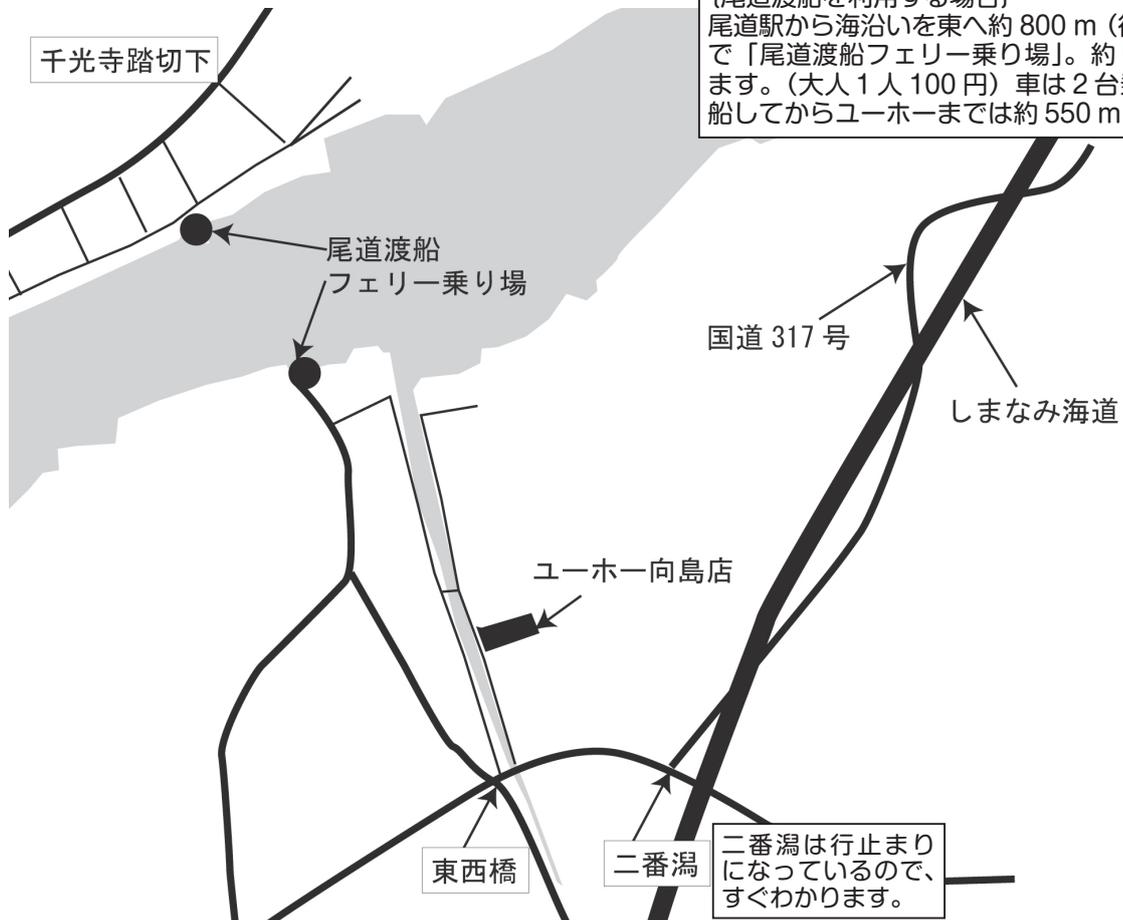
尾道・向東を俯瞰し、かつて7つの小島であったというこの島々を眺めてみましょう。古くから塩田が広がった村、全国各地へ切り出された石切場、海辺でありながら良質の水を供給した水場、などをぶらり探訪していきましょう。  
また、田植え観音とも呼ばれる伝説を持つ西堤寺の観音像、かの平清盛がやってきたと伝える古地名なども遠望したいと思います。

## 【福山方面からの車での行き方】

※まず「旧尾道大橋」を渡りましょう。  
バイパス2号線→高須インター手前で「しまなみ海道」方向へ左(すぐ二手に分かれるので、右のしまなみ海道本線の方へ入ります)→しばらく「しまなみ海道」を走り、「尾道大橋出入口」の看板で左手へ→そのまま「旧尾道大橋」をわたる(※2号線で来る場合は「尾道大橋入口」の交差点を右折して「旧尾道大橋」をわたってください。)  
※橋を渡った後は下の地図を参照して下さい。  
旧尾道大橋→そのまま国道317号線を走り続け「二番湯」交差点で右折→「東西橋」交差点で右折→ユーホーが目視できるので、入り川沿いを走り橋を右折。

## 【尾道渡船を利用する場合】

尾道駅から海沿いを東へ約800m(徒歩約15分)で「尾道渡船フェリー乗り場」。約5分間隔で出ます。(大人1人100円)車は2台乗れます。下船してからユーホーまでは約550m(徒歩約7分)



12月11日(日)

年末恒例

特別講演会

【日時】 12月11日(日) 午後2時～

【場所】 ふくやま草戸千軒ミュージアム 地下講堂  
(広島県立歴史博物館 福山市西町 2-4-1)

【講師】 加藤 光臣 氏 (三次地方史研究会)

『三次盆地の古墳時代  
～特に三次地域の古墳の特色について～』

【会費】 無料

※講演会は事前申込不要。

望年会

講演終了後、講師を囲んで懇親会(望年会)を開催します。

【日時】 12月11日(日) ※特別講演会終了後(午後4時30分頃～予定)

【場所】 福山城「月見櫓」(福山城公園内)

【会費】 2,000円(飲み物付)

【申込】 12月7日(水)までに申込してください。

※準備の関係で当日申込はお受けできません。



要  
申込

城の歴史 備後のほぼ中心に位置する、上賀茂神社領有福庄を眼下に睥睨する標高525メートルの鶏足山の山頂に築かれた山城で、古くは初代の備後守護土肥実平・遠平父子が本拠とした城とも伝わっている。土肥氏は短期間で備後守護を解任され、安芸沼田庄に本拠を移したが、庶子家の一部はこの地に土着し、竹内氏を称した。南北朝時代、この城に拠って南朝方の旗を揚げた竹内弥次郎兼幸はその子孫である。兼幸が挙兵したのは、足利尊



南麓から望む有福城山

曲輪は山頂から周辺に伸びた尾根上にも見られ、尾根続きには大規模な空堀を設けている。これらの遺構のほとんどは、戦国時代に毛利氏や、城代として入った有福氏が改修したもので、南北朝期までの有福城は、山頂にわずかの曲輪を設けただけの簡単な構造であった。

城の歴史 備後のほぼ中心に位置する、上賀茂神社領有福庄を眼下に睥睨する標高525メートルの鶏足山の山頂に築かれた山城で、古くは初代の備後守護土肥実平・遠平父子が本拠とした城とも伝わっている。土肥氏は短期間で備後守護を解任され、安芸沼田庄に本拠を移したが、庶子家の一部はこの地に土着し、竹内氏を称した。南北朝時代、この城に拠って南朝方の旗を揚げた竹内弥次郎兼幸はその子孫である。兼幸が挙兵したのは、足利尊

氏が備後拠を発つて東上を開始した直後の建武3(1336)年6月のことで、以後、同年秋まで、兼幸は府中青目寺の別当弁房、小早川七郎などと共に活発に行動し、尊氏の指令を受けた三善左賀寿丸・山内親西・長谷部信仲などと備後各地で干戈を交えた。見どころ 南北朝時代の築城らしく、ほぼ独立した鶏足山の山頂を南北に細長く削平して曲輪としたもので、一部に土塁も見られる。

所在地 府中市上下町有福比高 約一三〇メートル  
築城者 不詳(土肥実平か)

この山城の歴史を50選で紹介

史料に登場する稀有な山城  
有福城跡

- ◎山城としての評価B
- ◎登り易さC
- ◎分り易さB

## お知らせ&お願い

備陽史探訪の会の各部会の講座について、各講座につき4月より資料代として100円を戴くことになりました。よろしくご了承・ご協力ください。

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
<p>「古墳講座」(第374回)</p> <p>◆11月26日(第4土)午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 山口哲晶(副会長) 【内容】「未定」</p> <p>※12月は お休みします。</p> <p>気軽に 参加して みてネ</p> 	<p>「中世を読む」(第345回)</p> <p>◆11月19日(第3土)午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 杉本憲宏(副会長) 【内容】「山手銀山城周辺について」</p> <p>※12月・1月は お休みします。</p> <p>銀山城の 調査は行 うので来 てネ～～</p> 	<p>「近世福山を読む」(第45回)</p> <p>◆11月12日(第2土)午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 「水野家臣団—総奉行 小場兵左衛門 その2—」 神嶋町の大手門前から入川下流への移転や木綿橋・吉津橋の架橋で総指揮を執った小場兵左衛門の活躍を取り上げます。</p> <p>◆12月10日(第2土)午前9時45分～ ◆福山市民参画センター 《第1部》 ◆講師 種本実(副会長) ◆内容 「枝益六」について 明治23年に大門貝塚から人骨を発掘した枝益六は、啓蒙所の教師から後には小学校の校長を勤めるなど生涯を教育に身を投じた。教育者としての業績は人口に膾炙されている。彼の人となりについてご紹介しします。</p> <p>《第2部》 ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 「水野家臣団—総奉行 神谷治部 その1—」 小場兵左衛門に加え新たに総奉行となった神谷治部の活躍を小場家文書を中心にご紹介しします。</p>

## 古文書講座 「古文書入門」

初回のみ

要  
申込



◆11月25日(第4金)午後7時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

◆12月24日(第4土)午前10時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

※12月はいつもと曜日と時間が違います。  
気をつけてください。

※テキスト代別途必要です。

## 会報 193 号原稿募集!

12月発行の会報193号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。11月16日(水)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)

# 史 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>